

SDGs目標3

「すべての人へ健康と福祉を」の達成

イノベーションは3つの「T」
が集まる場所で起こる*

*R. Florida, The Rise of the Creative Class:
and How It's Transforming Work, Leisure,
Community and Everyday Life, (2002)

データサイエンス
教育の知見活用

Talent

Technology

(文理融合・学際性)

スマート健康社会研究

+

データ思考: データをもとに事象を適切に分析・説明できる素養と技能

イノベティブ人材の輩出

Tolerance

データドリブンの研究手法により、単にヒトの身体的な健康のみならず、人々が健康的な社会的、経済的活動を営むことを可能とするために必要な新たな価値を創出し、イノベーションにつなげるための学問領域

既存の価値と異なる価値を忌避せず、積極的に交流し、新たな価値を創出する態度。イノベーションは、既存の価値では発見、解決できない社会課題を発見し解決するところに成立することから、**さまざまな価値が邂逅する場の機能を強化していく。**

総合大学としての本学が有する
人文社会系、理学、医学等の自然科学系の学術的知見の総体を活用

都市社会文化研究科(都市設計、環境等)、国際マネジメント研究科(経営・経済・福祉等)
生命ナノシステム科学研究科(材料研究、創薬等)、生命医科学研究科(生体材料等)
データサイエンス研究科(統計数理、AI、社会展開)、医学研究科(医療、看護、福祉等)

フェローシップの支給

初年度対象学生: 8名 (一人あたり2,000千円/年)

研究指導等

研究指導: 大学院博士後期課程所属学生の研究活動を、時代の潮流をとらえたクリエイティブなものとなるよう、テーマ設定、研究手法等を指導。
「データ思考」による研究手法を求める。

+

(1) 教育研究以外の能力開発

学生は、本学が提供する論文作成セミナー、英語プレゼンテーションに関する講座、論文作成能力の涵養講座 等を受講する。

(2) メンター制度の実施等

教育活動

(1) データ関連科目の受講

各研究科で設置するデータ思考関連科目の受講を推奨する。

邂逅の場形成

毎年1回データ思考、文理融合等を要素とする合同研究発表会を実施。英語で開催。企業関係者等外部の関係者を招聘

キャリアパス支援

(1) キャリアパス形成に資する講義、企業関係者との交流会等の実施

・キャリアパス支援講座開催: インターンシップ準備講座、自己分析講座、仕事研究講座、マナー講座、自己PR講座等)・業界説明会・企業交流会・個別相談会・個別就職支援 等

(2) 連携する研究機関・企業等との共同研究、研究インターシップ

(3) 課程修了後の自大学ポスト構築(仮称: 育成助教)

(4) インターンシップ実施機関先の拡充・開拓